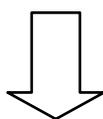


A-3 活用力を育成する国語科の単元構成

【教師の意識】	基礎的・基本的な力の習得		【児童の姿】
<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態把握 教材提示の工夫 	出 会 う	○ねらいを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ねらいがわかり既習を振り返る。 あらすじがわかり課題を見つけようとする。
<ul style="list-style-type: none"> 既習を活かして考えることができるような学習のしかけづくりや根拠を明確にできる発問の工夫 		○教材と出会う。【全文概観】	
<ul style="list-style-type: none"> 全員が考えを表現できる工夫 考えを交流する場の工夫 	つ か む	○単元の学習の目的(ゴール)を共有する。	
		○課題をつかむ。	
		○学習計画を立てる。	
<ul style="list-style-type: none"> 全員が考えを表現できる工夫 考えを交流する場の工夫 	深 め る	○読む。	<ul style="list-style-type: none"> 既習を活かしながら課題について根拠を明確にして考える。 友だちと交流して自分の考えを広げたり深めたりする。 学んだことを確認する。
		○自分の考えを持つ。	
		○学び合う。	



活用の場(読みのゴール)他領域・他教科等

<ul style="list-style-type: none"> ねらいが達成される表現の場の工夫 自分の伸びを自覚できる適切な評価の工夫 	活 用 す る	○自分の考えを表現する活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 「読み」で学習したことを活かして目的や相手に応じて自分の経験や知識に照らしてわかりやすく書いている。 ねらいに照らしてついた力を確認し、次の目当てをもつ。
		○自分の考えを交流し発表する。	
		○振り返りと評価をする。	